

--	--	--	--	--

—待機児童対策の再構築に向けて

来年度に向けた子ども子育て支援の自治体施策

～新制度活用方策—量的拡大と質の確保に求められる自治体独自の施策と支援～
 □子ども・子育て支援制度の特徴と活用方策—保育士処遇改善を待機児童解消への道に?!

- 子育て緊急事態をどう乗り越えるか—保育園整備に向けた自治体の取組みと求められるサポート
- 世田谷区—保育の質ガイドライン整備等を踏まえた保育所整備—量的拡大と質の向上
- 松戸市の子ども政策—千葉県下1位の小規模保育事業の推進と連携施設の確保方策
- 武蔵野市—地域連携型の子ども・子育て支援—子育て支援ネットワーク構築へ向けて

【講師陣】

- 村山 祐一** 氏 / 保育問題アナリスト、加須福祉会理事長(埼玉)
- 普光院 亜紀** 氏 / 保育園を考える親の会代表(豊島区)
- 渡邊 祐士** 氏 / 世田谷区子ども・若者部 保育計画・整備支援担当課
- 小林 邦博** 氏 / 松戸市子ども部長
- 横瀬 英樹** 氏 / 武蔵野市子ども家庭部子ども政策課

開催日時・会場

10月18日(火)
 10:00～16:50
 剛堂会館・会議室
 (東京・千代田区)

【参加要領】

■会 場：剛堂会館・会議室
 東京都千代田区紀尾井町3-27
 (案内図は申込後送付)

■参加費(1名分)

	1名参加	2名以上参加
行政・議員	25,000円	24,500円
一 般	35,000円	34,000円

参加費の払い戻しは致しませんので、申込まれた方のご都合が悪い場合は代理の方のご出席をお願い致します。

■支払方法：請求後の振込・郵便振替・当日払い
 みずほ銀行麹町支店 普通1159880
 三井住友銀行麹町支店 普通7411658
 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通5829767
 郵便振替：00110-8-81660 □口座名：(株)地域科学研究会

■申込方法：下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい
 (FAX・郵送・メール等)

請求書等書類が不要の方は開催日までに上記口座へ振込をお願いします。書類が必要な方には受講証と共に郵送しますので到着後にお支払いをお願いします。領収書が必要な方には当日受付でお渡し致します(日付、但書等の留意点があれば明記下さい)。

お申し込み・お問い合わせ



東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
 TEL03(3234)1231 FAX03(3234)4993 〒102-0082
<http://chiikikagaku-k.co.jp/>

【申込書】 FAX：03-3234-4993 Email：machi@chiikikagaku-k.co.jp 2016年 月 日

□研修会『来年度に向けた子ども子育て支援の自治体施策』への参加 □当日参加 ※メディア参加はありません

勤務先 _____ 連絡担当者 _____

所在地〒 _____ TEL _____

参加者氏名 _____ 所属部課役職名 _____ FAX _____

_____ Email _____

(通信欄) ○を付けて下さい
 支払方法(請求後の振込・郵便振替・当日払い)
 必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)
 請求書等宛先名：_____

時	講 義 内 容
10:00 } 11:30	<p>子ども・子育て支援制度と自治体施策 保育問題アナリスト、加須福祉会理事長(埼玉) ～自治体の新制度活用方策―課題とその解消法 村山 祐一氏</p> <p>1. 新制度の特徴と活用 (1)給付制度(認定こども園・地域型保育事業)と委託制度(保育所)との大きな制度的相違―2つの異なる制度が併存する複雑なシステム (2)幼保連携型認定こども園制度について ① 新制度と旧制度との違い ② 特別利用保育・教育制度(支援法第28条)の活用―1号認定こどもが保育所入所、2号認定こどもが幼稚園入所可能に (3)保育必要量の構造―保育標準時間(1ヶ月120時間程度以上の就労)と保育短時間(1ヶ月48～68時間以上120時間未満の就労)について (4)利用定員と認可定員について</p> <p>2. 保育ニーズの変化と待機児童対策 (1)待機児童問題をどのように捉えるか ① 児童福祉法24条1項の市町村責任と待機児童・隠れ待機児童 ② 待機児童数が増えているが、入所児童数は、待機児童数の割合は ③ 年齢別利用者数の変化をみる ④ 多数の乳児が保育を受ける時代への突入(国際的な潮流) (2)乳児期から小学校就学までの5年間程度を安定した生活と発達を保障し、小学校への安定した接続を保障していく視点からの検討 (3)保育・教育無償化を見通した理解</p> <p>3. 保育士確保困難(「保育士不足」)と保育士処遇対策の遅れ (1)保育士確保困難は構造的問題―1995年のエンゼルプラン以降の政策展開でどのように変化してきたか (2)時代から取り残されつつある保育士処遇 (3)保育士処遇改善こそ待機児童解消への大道</p> <p>4. 街づくり・震災対策と保育所整備 (1)地域の乳幼児期の子どもの生活圏をどのように考え、保障するか。 (2)子どもの発達と生活保障の視点から、街づくりと小学校区・中学校区との連携・接続 (3)各地域の震災環境と震災対策をどのように把握し、考えるのか。 ―乳幼児期の子どもと親の避難スペース(地域児童福祉避難所)の確保の視点からの検討</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>村山祐一氏プロフィール 1969年法政大学大学院社会科学研究科修士課程修了、社会福祉法人加須福祉会三保保育園園長、鳥取大学教育学部教授、帝京大学文学部教授などを終り、現在、全国保育園団体連絡会保育研究所所長、社会福祉法人加須福祉会理事長、日本保育学会評議員。保育行政や児童福祉に関する著書・論稿多数。</p> </div> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p>
11:40 } 12:40	<p>子育ての緊急事態をどう乗り越えるか 保育園を考える親の会代表 普光院 亜紀氏 ～保護者が安心できる保育園整備に向けて～</p> <p>1. 危うい「保活」の現状と自治体に求められるサポート 2. 「100都市保育力充実度チェック」に見る自治体の取り組みの差 3. 国の待機児童対策、労働制度との関係について 4. 保育士不足と質の低下、保育事故の実態 5. 安全安心な保育、子どもが健やかに育つ保育が地域にもたらすもの</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>保育園を考える親の会(豊島区) 保育園に子どもを通わせる保護者のネットワーク。1983年創会。首都圏を中心に、約400人の会員が在籍。独自調査『100都市保育力充実度チェック』(毎年発行、ホームページにて頒布中)を自費出版。</p> </div> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p>
13:30 } 14:30	<p>〔世田谷区〕量的拡大と質の向上を両輪に考える保育所整備について 世田谷区 渡邊 祐士氏 ～世田谷区保育の質ガイドライン等を踏まえて～</p> <p>1. 就学前人口・待機児童数等の推移と今後の保育施設整備計画等について 2. 保育所の整備手法について 3. 世田谷区の【保育の質】を維持・向上させていくための取り組み ～世田谷区保育の質ガイドライン等～</p> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p>
14:40 } 15:40	<p>〔松戸市〕待機児童解消に向けた取り組み 千葉県松戸市 小林 邦博氏 ～小規模保育事業の推進と連携施設の確保～</p> <p>1. 県下1位の小規模保育施設の整備 2. 私立幼稚園預かり保育事業の新規補助制度 3. その他:松戸市の子ども政策</p> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p>
15:50 } 16:50	<p>〔武蔵野市〕地域社会全体の連携による子ども・子育て支援 東京都武蔵野市 横瀬 英樹氏 ～共助による子育てひろば事業の推進～</p> <p>1. 武蔵野市の紹介 2. 武蔵野市の子育て支援施策 3. 共助による子育てひろば事業～collabono(こらぼの)コミセン親子ひろば～ 4. 地域の子育て支援ネットワークの構築に向けて</p> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p>